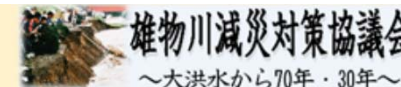


タイムラインを活用したロールプレイング演習を実施(H29.11.2)



「雄物川の減災に係る取組方針」に基づく取組みの一環として、雄物川流域の自治体において策定されたタイムラインに基づき、ロールプレイング方式の図上演習を横手市と湯沢河川国道事務所との共同で実施。(流域自治体も含め協議会メンバーが参加)

1. 開催日時・会場

- ・開催日時：平成29年11月2日（木）8:30～15:40
- ・会場①：横手市役所条里北庁舎 ・会場②：湯沢河川国道事務所
- ・参加機関：(総勢86名)

演習部	指揮部
横手市	横手市、秋田県平鹿地域振興局、秋田市、湯沢市、美郷町、秋田地方气象台
湯沢河川国道事務所	東北地方整備局(本局)、湯沢河川国道事務所

※減災対策協議会の構成員も指揮部として参加

2. スケジュール

08:30～08:35	開会・挨拶	09:00～12:00	演習
08:35～09:00	演習直前説明・ 作戦会議	12:00～14:00	休憩・準備
		14:00～15:40	検討会及び講評

3. 主要演習項目

- ①迅速かつ適切な情報収集・分析
- ②的確な状況判断
- ③大規模洪水における行政担当者の住民への正確な情報伝達
- ④浸水想定区域内における適切な避難誘導
- ⑤関係機関との緊密な連携(リエゾンを通じた情報共有や支援等)

4. 演習場面

●演習想定日時は、梅雨前線が発達して大雨をもたらす時期「7月20日(平日)18時開始」とし、雄物川および横手川が、夜間に急激に水位上昇する設定とした。

●また、被災の想定は、H29年7月の大雨災害の状況を踏まえて、演習初期の段階で支川横手川での土砂災害や内水被害が発生する想定とし、その後雄物川も堤防決壊(横手市域)などの大規模被害が続く想定とした。

5. 状況写真



全景(湯沢河川演習部)



電話による状況付与(湯沢河川指揮部)



テレビ会議でのホットライン(横手市演習部)



全景(横手市指揮部)



参加者による感想(検討会)



横手市副市長による講評(検討会)

6. 参加者の感想

○横手市総務部

- ・対策本部の対応能力の向上につながる訓練が出来た。
- ・各部、各班での情報共有のやり方等の不徹底があった。
- ・情報を受けての次の見通しの分析というのが十分でなかった。

○横手市消防部

- ・全体的に、実践的で非常に有効な訓練が出来たと思う。

○横手市広報

- ・我々行政から情報を出すことで助かる住民の命があるという事を、噛み締めながら、そういった点での連携をより取れたらいいと感じた。

7. タイムラインの課題等

- 各自治体においては、本川のタイムラインよりも、支川上流での氾濫や土砂災害などを見据えた実行の前倒しが必要